

新卒業生レポート



放射線技術科学科 松井大輔さん

今こうして大学生生活を振り返ると、色々なことを学び、様々な経験をし、すばらしい仲間ができ、共に成長してきたことを実感しています。特に大学4年時は臨床実習を経験し、就職活動を行い、卒業研究をし、国家試験に挑むという1年中肩の荷がおりる事のない日々でした。しかし、そんな時にお互いを支えあったゼミのメンバーはとても大切な仲間になりました。また、ゼミの指導をしていただいた武藤先生には勉強だけでなく、人として色々なことを教わり、自分を何倍も成長させていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は4月から、医療メーカーで働きますが、全国に最善の医療を提供したいという目標に向かって、まずは目の前のことに誠心誠意取り組んで行きたいと思います。そして、卒業する同級生へ、働く現場は違って同じ医療に携わるものとして社会に貢献していきましょう！

医療栄養学科 櫻井友美さん

私は、この大学4年間という短期間で様々な事に挑戦することができ、一生の中でも、とても大切な時間を過ごしました。一人暮らしやアルバイト、学問への目覚めなど、本当に充実していました。なかでも卒業研究では、野路先生という素晴らしい指導教授のもと、知識や現代医学の情勢、そして何かをやりとげるといふことの大切さを学ぶことができました。大切な友人に囲まれた楽しいこのひとときを一生忘れずに、管理栄養士として立派に生きていきたいです。

理学療法学科 黒田晴香さん

大学生生活で最も印象深いのは、やはり病院での臨床実習です。目の前の患者様に喜んでいただきたいと必死で考え悩み続けた14週間でしたが、得たものは大きかったと思います。最後に見た患者様の笑顔と涙は一生忘れません。

いうまでもなく、4年間という短い間で全てを学んだのではなく、むしろこれから学ぶべきことの方が多いのだと思います。大学で学んだことを基礎とし、常に向上心は持ち続けたいと考えています。多方面から患者様を捉え、患者様を第一に考えられる理学療法士になりたいと思います。

医療福祉学科 山中麻由さん

鈴鹿医療科学大学の特徴は、先生達の情熱が滾っている！ということです。国家試験対策講義は毎日あり、さらに小グループでの集中講義、個人成績分析、何度も行われる個人面談や模試解説、そして就職のための面接練習や小論文指導など、社会に出て行くための準備を万全に整えて下さいました。また、勉強から恋愛まで何でも相談にのって下さり、本当にこの大学、この学科を選んで大正解だったと思います。

春から、私も社会人として仕事に燃える情熱をかけていきます。

臨床工学科 藤川陽平さん

僕の大学4年間は非常に短く感じるものでした。それはいい仲間たちに恵まれたおかげです。B型全開迷える芸人、おしゃべり天然記念物、アクセル全開熱血車野郎、伊勢が生んだサッカーバカ憎、個性豊かな仲間ばかりでした。治療機器の実習、臨床実習、テストなど数々の試練も仲間と助け合いながら乗り越えました。時にはぶつかり合い、自分を成長させてくれたのも仲間たちのおかげ。こんなに素敵な仲間や恩師方に囲まれて過ごした大学生活は、とても充実していました。これからは離れ離れになってしまうけど、この友情は永久に不滅です。みんなありがとう！

医用情報工学科 前川貴之さん

この大学での生活は、クラスメイトとの飲み会やバイトなど、自分の時間を有意義に楽しく使うことができました。また、授業・研究・病院実習などで、考え、悩んだり、大変でもあった4年間だったと思います。どれも自分にとって貴重な経験だったと思います。これから社会人となり、辛いことも多々あると思いますが、この4年間で学んだこと、経験したことを活かされるよう、頑張って歩いていきたいです。

恩師からのメッセージ

新卒業生へのメッセージと同窓会の皆様へ

保健衛生学部 医療福祉学科

学科長 佐々木 信也先生

2008年3月、新たにご卒業された皆様おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。思えば4年前、皆様は新しい希望に燃えて本学に入学されました。4年間の学生生活は、いかがでしたか？ 皆様は本学の3学部7学科のいずれかに籍を置き、基礎科目を基にそれぞれの専門科目を学び専門技術者・研究者として厳しい勉学・研究や訓練に耐え、卒業の栄を勝ち取りました。日々の勉学や定期試験、卒業研究や論文の作成、国家試験対策等々、また学生として、人としてたくさんの喜び、悲しみ、楽しみ、苦しみを経験されました。この青春の思い出は、生涯の尊いものとして皆様の心に残ることと思います。

本学は、建学の精神として「科学技術の進歩を真に人類の福祉と健康の向上に役立てる」を基調にその教育の理念として「知性と人間性を兼ね備えた専門技術者・研究者の育成」を礎として医療社会に貢献できる高度の医療技術と人間性豊かな人材の育成に必要な教育を行うとしています。この「建学の精神」や「教育の理念」は本学がこの三重の鈴鹿の地に設立され、これからさらに発展し進化するための大切な基であります。同時に卒業された皆さんのこれから歩むべくそれぞれの指標として「この精神と理念を心に刻んで」いただければと思います。特に「知性を備えた専門技術者・研究者」としては、今日までの本学での学びを基に、それぞれの場で実践者として、研究者として極めることは各自の日頃の努力と勉学・研究により可能となります。しかし、「人間性を備えた…」すなわち人間性豊かな、心豊かな専門技術者・研究者も兼ね備えることを求めています。人間性豊かな人、

心豊かな人とは…専門技術者・研究者とは…このことを問いながら、考えながらこれからの人生を歩んでいただきたいと思います。

さて、既に本学を卒業され社会でご活躍中の同窓生の皆様に、医療福祉学科の第一期生が卒業し皆様の一員として仲間に加えていただくにあたり、医療福祉学科のことについてご理解賜りたく、紹介・報告をさせていただきたく思います。福祉は、弱い人々、気の毒な人々を救済する、すなわち慈善とか慈恵という形で近年まで発達してきました。長い歴史を経、そして今日に至りその対象者は心や体に障害を持つ人々、社会的・経済的に支援を必要としている一部の人々だけでなく、すべての乳幼児から高齢者が必要なときに、必要に応じて利用するものとなりました。私たち元気な人々(健常者)と同じように、人として心豊かな尊厳ある人生を送ることができるように支援するのが「福祉」です。この福祉を必要とする人々を支援する専門技術者の養成を本学科で実施しています。

学科の教育研究目的として、国家資格である社会福祉士・精神保健福祉士の育成を主たる目的におき、(1)社会福祉の理念を理解し、専門的知識及び技術をもって障害又は日常生活を営むのに支障を持つ人々へ医療福祉に関する相談・助言・指導等の福祉サービスの提供ができる人材、(2)医師その他の医療従事者と連携・調整・協力がとれ、保健医療サービス等が総合的かつ適切に提供できる人材を育成するとしています。(平成20年度からは病後や心身障害乳幼児を含めた医療に強い保育士の育成も始まります)

1月下旬には社会福祉士・精神保健福祉士

の国家試験があり本学科からも多くの学生が挑戦しました。他の国家試験に比べ大変狭き門であり昨年19年度の全国平均合格率は社会福祉士27.4%、精神保健福祉士60.3%でした。今年度の結果は3月末の発表となりますが本学科では、全国でも、東海地区でも、特に西日本私立大学としてはかなり上位の合格率達成ができた予想しています。また医療福祉学科第一期生の就職先も順調に推移し、1月末で90%を超えました。一般病院の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)や精神科病院の精神保健福祉士、医療・介護器械メーカー、幼児・障害者・高齢者福祉施設の福祉相談員・福祉指導員、銀行・信用金庫等金融機関、その他一般企業、市町村職員、県福祉事業団職員、国家公務員としては法務教官、等々福祉の就職先は幅広く、特に本年は三重県庁に福祉専門職として2名が合格できました。就職先確保は今後も重要な課題です。皆様同窓生の医療施設や職場で福祉職の求人等があれば、ぜひご紹介下さいませようお願いいたします。

鈴鹿医療科学大学は、昨春に新たに高木純一理事長が就任されました。平成3年開学された歴史を基盤に更なる進化、成長すべく今春の薬学部設置を含め、第二のスタートが始まりました。昨年秋の同窓会会報で「それぞれの分野で質の高い教育を目指し、医療福祉系総合大学として特色のある教育を目指して行く」と理事長は挨拶されています。私たち医療福祉学科の教員も微力ではありますが、それに答えて質の高い教育を目指し、努力致したく思います。同窓生の皆様もぜひその支えの一翼を担っていただきたいです。

卒業生メッセージ 当選者の声

大学祭同窓会コーナーにて実施しました「抽選会」にて、見事当選した方にインタビューをしました。

- ①卒業してから何年ぶりに大学に来ましたか？また久しぶりに大学に来た感想は？ ②大学祭の雰囲気は？
③近況をお聞かせください ④同級生や卒業生に向けてメッセージをお願いします。

特等 医療栄養学科 鈴木邦康さん(1期生)

- ①毎年、大学祭には顔を出させていただいています。学生さん達の元気な様子を見ることが、卒業してから10年が経ち、楽しみになってきました。いつまでも明るい母校であることを願います。
②今年は少々お客さんが少ないように感じました。みんながテントの中に閉じこもっている気がしました。発想・想像など皆さんの能力をもっと出して、磨いてほしいです。
③仕事に家庭に、の毎日です。毎日悩みっぱなしです。
④明るく元気で、優しく。とにかく遊んで、必死に勉強してください。

1等 放射線技術科 矢嶋正範さん(13期生)

- ①半年ぶりに来ました。特に変わりなく、安心しました。
②毎年のことですが、大きな問題もなくまったりとした学園祭でした。
③病院に就職し、毎日が学生時代よりも勉強することが増えて大変ですが、楽しくやっています。
④プラネタリウム当たっちゃいました。ありがとうございます。



1等 医療栄養学科 福田麻子さん(12期生)

- ①1年ぶりくらいです。大学時代の友達に会えたので、その頃を思い出せて楽しかったです。
②私も学生時代、お店を出したことがあったので、懐かしく思いました。
③病院で働いて、退職しました。今は主婦をしています。
④(在学生へ)大学時代は、いろんな所へ行ったり、やりたいことをしてたくさんの思い出をつくってください。大学の頃の仲間が、社会に出てからも大切に支えになります！

全学科の新卒業者に向けて ~21世紀の医療、統合医療とは~



鍼灸学部 鍼灸学科 学科長 佐々木 和郎先生

ご卒業おめでとうございます。鍼灸学部鍼灸学科は2004年(平成16年)に開設し今年度、完成年度を迎え卒業生を送り出すことができました。現在、鍼灸師を養成する4年制の大学は全国に6校あり、昨年12月までの専門学校数は73校にあります。学校数は鈴鹿医療科学大学に鍼灸学部開設時から急激に増え、年間の鍼灸師国家試験受験者数は2004年約三千人でしたが2007年は五千人と急激に増加しました。これは、以前には鍼灸学校の設立が規制されていたが、規制緩和で学校数が急激に増加したこと。さらに、東洋医学への関心が高まっていることも関係すると考えられます。

現在、欧米各国では21世紀の医療といわれる「統合医療」が注目されています。統合医療とは「患者さんに最善の医療を提供するために西洋医学の枠を超え、東洋医学等も応用し、総合的に患者さんを治療、ケアしていこうと

いう医学です。」昨年、アメリカ・ボルチモアでNIH主催の「鍼の国際会議」があり、全世界から約300人の鍼治療に関係する研究者が参加し、活発な討議が行われました。欧米各国では、鍼灸治療が医療保健の中に組み入れられ、鍼の効果をより明らかにするため医療保険を取り扱う会社が多額の研究費を提供しています。臨床研究の内容は大規模な臨床比較試験などで、例えば、ある特定の疾患にどれくらい鍼治療の効果があるか対照群を設定して臨床研究を行っています。また、このような研究により鍼治療がどの疾患にどの程度有効かも明らかになってきました。鍼治療に関連の研究機関で米国にあるNIH(国立衛生研究所)のNCCAM(補植代替医療センター)における研究予算は、昨年度の年間予算が150億円となっています。さらに、WHO(世界保健機関)は2002年のWHO総会において伝統医学の開発戦略を可決しています。その内容は「プライマリーヘルスケア(PHC)に伝統医学を積極的に用いるように」というものです。この伝統医学の開発戦略はWHOから世界各国に通達がだされています。現在、米国では大規模病院に統合医療センターが併設され各種疾患に積極的に伝統医学が活用され始めています。また米国の医学校

では90%以上の学校で統合医療が講義されています。いずれ世界の潮流は我が国の医療にも影響を及ぼすものと考えられます。

このような現状より文部科学省の研究の重点領域課題として科学技術振興調整費を用い「統合医療」が取り上げられています。鈴鹿医療科学大学鍼灸学部は、この研究課題に関連し、2年前より鍼灸医学分野では全国初の研究拠点となりました。研究課題は「統合医療の科学的評価法の開発と臨床指針作成」に関する研究で大阪大学医学部大学院、東北大学工学部大学院、三重大学医学部大学院、朝日大学歯学部と共同で研究を行い今年度、報告書を提出いたします。

鈴鹿医療科学大学は全国でもここだけという、現代西洋医学の医療を担う技術者、研究者の養成と伝統医学の技術者をも養成する。まさにこれからの21世紀の医学を代表する「統合医療を実践できる数少ない大学」ではないかと考えます。様々な医療従事者が同じ大学で肩を並べ学習できる大学です。卒業生の皆さん、様々な医療現場で働くことになると思いますが鈴鹿医療科学大学も年々、学部も増え進歩発展をしています。母校に誇りをもち、今後も鈴鹿医療科学大学の後輩の支援、よろしく願いいたします。

卒業生へ

保健衛生学部 理学療法学科 学科長 中 徹先生

ついに卒業の時が来ました。入学と同様、卒業もその日から突然に身分が変わるといって同じです。人間の変化は元来緩徐なものですから、急激な変化には戸惑うものです。入学後の戸惑いを覚えていますか？急に勉強が難しくなった、自由に拡がる時間を全て自己責任でコントロールしないとイケない、時には朝から6時まで授業があるなど、淡く夢見にみた「自由なキャンパスライフ」とはかなり違っていたのではないのでしょうか？そして学問を修め卒業した日からこれまた突然に社会人です。この戸惑いはこれからですね。前日の過ごし方がどうであれ、翌日の始業時までには出なければならぬ、気の合わない人とも一緒に仕事をしなければならない、きっと沢山の戸惑いと出会うのです。

でも、戸惑いは進歩の始まりです。難しい勉強と取り組むから知識が増える、時間を制御するから自己管理能力が育つ。遅くまで授業があるから持続力が身に付く。そして社会人では朝行かなければならぬから責任感が育ち、どんな人とも仕事をしなければならないから協調性が生まれるのです。沢山戸惑えばいいし、それは確実にあなた達を成長させます。戸惑いは健全な心的感覚です。もし

若くして戸惑いがないのであれば、自分の感性が少し鈍っているかもしれないと思ってみてもいいでしょう。戸惑いから気づくことができる力は大学で十分に身につけてきたと思いますから安心して戸惑いましょう。

さて、皆さんは教師が一番喜びに思うことはどんなことだと思いますか？それはあなた達が私たち教師を必要としないようになることです。即ち、教師を超えることです。私たち教師の仕事は最終的には自分を越える人間を育て自らの存在が不要となることを促すという実に皮肉な仕事なのです。ただ、当面は無理です。はつきりと無理です。無理ですから卒業後もやはり少しは皆さんの教師でいなければならないのです。ただ、今までのように試験をして合格不合格をつける教師ではありません。皆さんが仕事の中で疑問をもったり勉強したりしたくなったら、いつでも大学に相談にきてもいいですよという意味です。メールという便利なものも助けてくれます。それを私は「卒業教育」と呼んでいます。この教育は皆さんが望まなければ受けることはできません。望めば教員は条件が許す限り応えてくれるでしょう。

理学療法学科の卒業生は1期生と2期生だ

けですが、すでに学科同窓会が結成され、二回目の学習会を行うような動きが出ています。教員が仕掛けたわけでも何でもなく卒業生の自主的な取り組みです。このように卒業生が頑張っているのであれば教員も卒業教育に力を注ごうと力が入ります。ここには教師一学生ではなく社会人同士の絆が育ち、真の意味での卒業教育が開くのです。気は早いのですが、教師を超える教え子集団が動き出したようで嬉しい気持ちです。

このように卒業生達が卒業後の短い期間によく育てくれたのは、当然ながら就職先の先生方が一生懸命に鍛えて下さったからです。本当に頭が下がる思いです。やはり社会の力はとても大きいものです。つくづく人は一人では育つことができないものであることを実感します。今年卒業するあなた達も、このすばらしい社会にこれから入っていくのです。そして沢山戸惑いながら育っていくのです。そして来年はまた同じ繰り返しがあり鈴鹿の伝統と歴史が作られていくのです。

あなた達には鈴鹿医療科学大学という心の帰省先があります。もちろん身柄を訪ねていただいても大歓迎です。

卒業おめでとう 2008年 翔春

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会登録情報変更について

このたび、「同窓会登録情報変更ページ」用ホームページを開設しました。パソコン及び携帯から登録情報が変更できます。

「引っ越しで住所が変わった」、「同窓会会報ラベルに印刷してある氏名が間違っている」など、登録情報を変更・修正したい場合にどうぞご利用ください。

登録情報変更ページは同窓会ホームページ (<http://www.sums-aa.com/>) よりアクセスできます。携帯電話からはQRコードをご利用ください。

同窓会登録情報変更画面(PC用)



同窓会登録情報
変更ページ
QRコード
(携帯電話用)



偽メールにご注意！

最近、「鈴鹿医療科学大学同窓会」または「同窓会」を名乗り、「寄付金を募っている」又は「名簿作成のため住所を教えてほしい」などと要求するメールが届いているとの報告を受けています。

本学同窓会事務局では、上記のような行為は一切行っていません。また、卒業生への連絡については原則的に本学会報及びホームページをもって行っています。

(ただし、皆様からメールでいただいた質問等に返信する、及び同窓会登録情報変更にかかる変更確認メールを除く)

また、年2回発行している「同窓会会報」等適宜のお知らせも全て「鈴鹿医療科学大学同窓会」名の入った専用封筒を使用しております。

登録情報(氏名・住所)について電話等で確認するなどの行為も一切行っておりません。以上、ご注意ください。



2007年 大学祭 同窓会コーナー報告

2007年11月3日(土)、4日(日)に第17回鈴鹿医療科学大学『碧鈴祭』にて、今年度も昨年度に引き続き、同窓会コーナーを設置しました。100名を超える同窓生に同窓会コーナーへ足を運んでいただきました。今回は、「メモリアル台帳」を設置し、訪れた人にメッセージを記入してもらう試みを行いました。時間差で会えなかった友人のメッセージに見入り、大学時代に思いをはせる姿がみられました。また、抽選会や10年来の思い出話に笑い声が飛び交い、会場内は終始和やかなムードでした。

1年に1回の集いですが、同級生との久々の再会の場所として同窓会コーナーを利用していただける姿を見、本当にうれしく思います。

今回も皆様のご協力のもと、同窓会コーナーが設置できましたこと大変感謝しております。



編集後記

新卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。そして、同窓会へようこそ！新しく福祉、鍼灸学科の卒業生を同窓生として迎えることができ、自身も鈴鹿医療科学大学同窓生としてとてもうれしく思っています。最近、卒業以来会っていなかった同級生に出会う機会が続いたのですが、長い年月を感じず、一瞬で大学の頃の関係に戻って再会のひと時を楽しめました。離れていても、いつまでも心に残るのは苦楽を共に過ごした大学時代の友人だと思っています。社会人としてのスタートを切る新卒業生の皆さんも、時には大学時代の友人と再会し、大学時代のことを思い出してみてください。(ま)